

1998年 冬

愛隣館研修センターNEWS

第43号

〒 612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町 151 TEL 075-621-3849 FAX 075-621-1579

E-mail :Dayservicecenter.Airin@ma2.seikyou.ne.jp 振替 01020-5-39321

編集発行人：社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター

地域子育てステーション誕生！

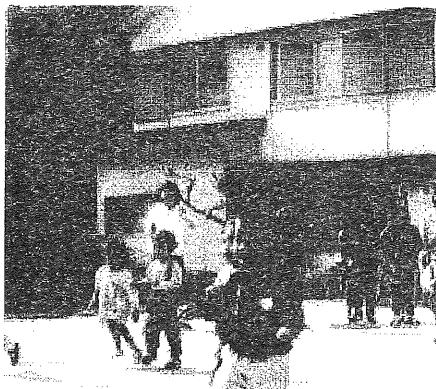
この度、京都市児童育成計画のもと「京都市地域子育て支援ステーション」に地域の代表として野百合幼稚園が京都市より指定されました。

地域に開かれた保育園として、子育てに奮闘されているお母さんと子どもたちに保育園を存分に活用していただこうと考えております。

子育て相談には、ベテランの保母が親切丁寧にお答えいたします。安全な遊具を使って、思いっきり体を動かしたい子どもたちには、園庭を開放いたします。どうぞお気軽に保育園まで足を伸ばして下さい。

◎こんな事をやっています！

- ・乳幼児・学童子育て相談
- ・乳幼児に園庭開放 毎月第1日曜日
- ・地域障がい児ふれあい活動
- ・親子体操・子育て講演会 etc…



楽しいなあ！ミニ運動会

☆今後の予定☆

- 12/13(日) 地域児童及び家族音楽コンサート
- 1/11(月) 乳幼児園庭開放 10:00-11:00
- 2月 子育て講演会
- 3月 地域老人・障がい者交流会(餅つき)

お問い合わせ TEL 622-8545~6

八戸市立

園児募集 のご案内

社会福祉法人イエス団 野の百合幼稚園

【「障がい」を持つ 幼児の通園施設『空の鳥幼稚園』隣接】

対象

保護者の委託を受け、
保育に欠ける乳幼児若干名

保育時間

AM 7：30～PM 6：30
(ただし、延長保育時間も含
みます)

クラス分け

0.1.2 歳児：個別、小集団保育
3.4.5 歳児：生活全般は縦割りグループ
設定保育は年齢別クラス
(午前中)

給食

主食、副食、おやつ
無公害食品を使用し、手作りに努めて
います。又、離乳食、アトピー食、給
食指導を専任栄養士が行ってい
ます。

保育の特色

- ・キリスト教の愛を基盤にし、「空の鳥幼稚園」の園児と統合保育を行っています。
- ・長時間、長期間（0～5歳）、保育で成長する子どもたちが、生活や遊びの中で自然に心と身体が育っていく環境づくりを目指しています。
- ・3.4.5 歳の異年齢児、「障がい」を持つ子との統合保育での生活を通じ自然に育ちあうことを願っています。



デイサービス一泊旅行報告

パワーみなぎる 徳島の旅

—明石海峡大橋開通記念編—

去る11月17日、18日の1泊2日の日程で、今年は四国・阿波の国徳島へ行つきました。その名も“パワーみなぎる徳島の旅”。デイサービス給食部門利用者12名（内車イス利用者8名）とスタッフ15名の総勢27名が参加。

出発だー！

例年どおり、当センターに10時半に集合。京都市洛南身体障害者福祉センターよりお借りしたマイクロバスと当センター自慢のリフト付きワゴン2台に分乗。快適な陸の旅です。名神高速、中国自動車道、山陽道と次々と通り抜け、目の前にあの世界一の（何が世界一なのかは忘れました）明石海峡大橋が！。「きれいやな～」「べんりやな～」等、驚嘆、賛辞の声が次々と聞かれ、あっという間に明石海峡を渡り、淡路サービスエリアへ。昼食をとり今度は大鳴門橋です。折りからの寒波の影響か、風速13メートルの強風が！。車ごと海に飛ばされ、鳴門の渦潮の餌食か！！と心配もしましたが、なんとか無事、今年のお宿「かんぽの宿」に到着。

徳島到着

ここは、徳島市内を一望できる眉山の山頂にある風光明媚なところ。夜景も、それはそれは見事で、「ここは函館？」と勘違いする参加者も。まあ、それはおいといて、宿に着けば、疲れた体をリフレッシュさせるため、まずはお風呂。広々とした大温泉に、利用者一同「気持ちいいなあ～」を連発。洗い場担当の職員はノボせる一步手前でしたが、皆さんのうれしそうな顔に勇気づけられ、なんとか入浴タイムを無事終えたのでした。

夜を駆けめぐる

さあ、そしてお風呂の後は待つてましたの大食タイム。今年のグルメは、豪華“海の幸”。お刺身、タイしゃぶときて、メインは伊勢エビ。ぶりぶりした身を楽しんだ後は、殻からダシをとったお味噌汁。まさに絶品といった感じで、参加者一同大満足でした。

今年も食後はカラオケタイム。それぞれに十八番（おはこ）を披露しあい、楽しいひとときを過ごしました。



オイみんな!俺がカラオケのキングだぜ!

わくわく体験

次の日は、ガラススタジオで、サンドブラストという技法でグラスやお皿に絵をつけました。その後は「アステイ徳島」という徳島を丸ごと体験できる施設へ。季節はずれの阿波踊りも体験。藍染のハンカチも製作し、お土産もしこたま買い込み、家路に着いたのでした。

今年も、賑やかで大変楽しい旅になりました。さて、来年は……



クリスマス献金のお願い

日頃は、当センターの活動をご理解頂き、様々な形でご支援を頂きまして、誠にありがとうございます。

おかげさまで、昨年度より本格実施のデイケア事業も好評を頂き、今日にいたっています。また、より一層、地域の中での生活支援のニーズが高まってくることが予想される中、具体的な活動の広がりが必要になってくると思います。

そのため、来年度から障がい児・者が地域で安心して生活できるためのシステム「障がい者地域生活支援センター」の設立を目指して準備いたしております。公的な援助が得られない事業ですのでこれまで以上に資金が必要となります。

何かと物入の時期に加え、これまでも様々な形で多大なるご支援を頂いていらっしゃる皆様方に、新たなお願いを申し上げるのは非常に心苦しいのですが、上記のような事情と趣旨をご理解頂き、今年度も「愛隣館研修センター・クリスマス献金」にご協力頂きますよう、改めてお願いを申し上げる次第でございます。

クリスマス献金、目標金額

3,000,000 円 ※ 口数、金額ともに任意です。

送金方法

※ 以下の口座をご利用ください。

郵便振替 01020-5-39321 口座名：社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター

☆お知らせ

▽愛隣館研修センターは、十二月二十八日（一月四日まで冬期休館日）とさせていただきま

す。

☆センター往来

▽去る十一月五日に、当センターにおいて「障がい者地域生活支援センター設立準備会」が行われました。今後も障がい者が地域で安心して暮らせるようなシステム作りを目指して準備会をすすめています。関心のある方、「参加下さい。」

★編集後記

▼バイクが壊れ、車が故障し、と、ハプニング続きでしたが、編集は無事終えました。よかったです。（さ）▼皆様よいクリスマスを！（ひ）